

12月16日（火曜日）午前10時から区役所にて小学校英語フォーラムを開催しました。区内外から約90名の参加があり、準備段階から小学校英語に対する関心の高さが示されました。現在、横浜市では来年からの小学校での英語活動実施にあたり、平成20年度から各校で準備が進められていますが、参加者には既に英語サポーターとして活動されている方、これからサポーターとして関わって行きたいと思っている方々の他にも、これからの横浜市の英語教育はどう進むのか関心のある方など、いろいろなレベルで関心があることがわかりました（アンケート結果参照）。

■笠原一氏（横浜市教育委員会小中学校教育課主任指導主事）

横浜市が行う小中学校9年間の「YICA」では、国際理解教室（全学年5時間）で英語を通して異文化を体験的に学び、外国語活動（1～4学年：年間15時間 5・6学年：30時間）で英語に親しみコミュニケーションを楽しむ活動を行います。2つの学習を有機的に関連付けることによって、本来の「YICA」のねらいである「主体的にコミュニケーションを図る」「体験的に異文化に触れる」指導をします。実際の指導は、子どもたちを最もよく知る教育のプロである学級担任を中心に、AETとサポーターとの3人によるチームティーチングで行います。



■トム・マーナー氏（昭和女子大学付属昭和小学校 講師）

小学校における「英語活動」は、英語教育や英会話ではなく、「英語によるコミュニケーション活動」です。ですからそのねらいは、「まず英語を身につける」のではなく、英語をコミュニケーションの道具として、相手の英語を理解しようと耳を傾け、自分の考えを伝えようとする態度を養うことです。実際に挑戦して、「あ、分かった。」「あ、伝わった。」という経験を積み重ね、英語に対する興味や積極性を深め、「英語活動」に対するモチベーションを高めることが大切です。小学校の教育は、「全人教育」つまり人間を育てる教育です。「英語活動」も、

その一環と捉えることができるのではないのでしょうか。

■泉頭理恵子さん（市立桂小学校英語サポーター）

桂小学校が、平成18年に横浜市教育委員会英語活動推進校として取り組みを始めて以来、サポーターとして活動してきました。指導の中心としての担任、英語や異文化のモデルとしてのAET、英語が話せる日本人のモデルとしてのサポーター、三者がそれぞれの立場に立って関わりあっています。担任が、授業の組み立てや流れのコントロールをし、AETとサポーターがデモンストレーションやスキット、ゲームやアクティビティの支援をします。また、よりよい授業作りのために事前の打合せや英語活動に関わっている人たちのチーム力を高めるために様々な工夫をしています。



■参加者アンケート結果

●あおば学校支援ネットワーク主催の講座・研修などの受講回数について

今回が初めて	51
1回以上	7
3回以上	3
5回以上	1

●今日の講演内容について

大変わかりやすかった	29
わかりやすかった	28
少しわかりにくかった	1
全くわからなかった	0

●英語サポーターについて

大変関心がある	42
少し関心がある	11
あまり関心がない	4
全く関心がない	2

●今日の感想またはご意見

- ・桂小の授業を見学させていただいたことがあるのですが、ビデオを見ながら泉頭さんにいろいろ解説していただけてそれぞれの役割がよくわかった。また小学校英語のねらいはきちんと理解する必要があることを強く感じた。出来れば学校がサポーターに説明会できちんと説明してほしい。
- ・小学校英語活動のもととなる考え方捉え方について詳しいお話が伺えたのは大変ためになりました。英語サポーター活動を続ける上での大きな支えとなることと思います。桂小で実際にサポーターとして活躍されている泉頭先生のお話・実際の授業映像も見せていただけて大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・様々な立場の方のお話がきけてとても有意義でした。
- ・小学校に在籍する子どもが2人います。これからどのような英語学習が展開されていくか大変興味がありましたが、今日のお話はとても参考になりました。いつもお忙しいような小学校の担任の先生方がAET、サポーターの先生方と授業について事前の打ち合わせをする時間をしっかりとることが出来るのかどうか疑問ではありますが。
- ・英語の授業についてのフォーラムでしたが、今日のような質の高い意識で学校教育全体が行われていって欲しいと思いました。英語教育について早期教育と幼い子どもたちが英語を話しているのにかなり抵抗がありましたが、言語が思考という人格を超越しているかもしれないと気づき、それはすごい事だと思いました。国際理解の時間は小学生の娘はとても楽しみにしていて生活やらあいさつやらを教えてください。横浜市はえらい！！
- ・来年から国際コミュニケーション活動がはじまると聞いて本日参加しました。ほとんど知識がなかったので、今日フォーラムで少し理解できたと思う。しかしまだまだ英語活動が学校で定着するのは難しいなあと話を聞いて感じました。
- ・某小学校で今年9月よりサポーターとして活動しています。事前打ち合わせをする時間はほとんどなく（授業研究会前には熱心な打ち合わせがありました）、授業前に2～3分打ち合わせをするだけになっています。AETは3校を掛けもちしている為、担任、AET、サポーターの3者がそろうことはあまりなく、担任とサポ

ーターのみの授業が多いです。以上桂小学校の泉頭さんのお話とあまりにもかけはなれていたのもまずは驚いているところです。

- ・マーナー先生のお話は今まで英語教育や英語活動の講演をきいてきた中で、一番問題点や課題をはっきり述べていただき共感できました。
- ・現状がよくわかり大変参考になりました。自分の参加しているE S T E E M（小学校の英語活動を支援している団体です）の紹介もしたかったのですが、またの機会を作って下さるとありがたいです。
- ・トム・マーナー先生のご講演大変うれしく参考になりました。的を得たご意見をわかりやすい言葉で明確に示して下さったことは、今後のサポーターとしての活動に大きな力（心のささえ）となると確信しました。英語が話せない中、海外駐在をした時に「英語（言葉）が育つ」ということは、人として人に対する興味と「知りたい」という好奇心にささえられていることを実感しましたが、帰国後英語教育に興味関心を持つようになりましたが、何だかいつも逆行しているように感じ、ひとり「これは違う」と思っていました。今後もぜひお話を伺い出来る機会があればうれしく思います。
- ・小学校の英語活動についてのねらいはよくわかりました。ただ、具体的にどう授業を進めるのかとか教材などをもっと知りたいと思いました。
- ・小学校は英語教育ではなく、英語活動であるということがわかってよかった。
- ・駐車場に入れなくて大半を聴き逃して残念でしたが、Q & Aから推察できたりビデオで授業の様子を見ることができて有意義でした。
- ・横浜市の小学校英語教育の目標とするとところが理解できてよかったと思います。こういった情報がもう少し父兄に伝わっていればいいのではないのでしょうか？英語サポーターとして登録をしているのですが、今後授業に参加することになった時の参考にさせていただきます（まだ授業には出ていません）。英語サポーターとして登録しているにもかかわらず、こういった講座があるということ連絡が頂けないのは残念です。せっかくこういった学べる場があるのに登録しているサポーターに案内がなければ見逃してしまいかねません。YORKのほうからか教育委員会のほうからでもお知らせいただくと助かります。（ちなみに今回はたまたまチラシを見て講座のことを知り参加できました）。マーナー先生の話はとても具体的でわかりやすかったです。ぜひ横浜の小学校英語教育にもっとたずさわって頂きたいです。
- ・7月からサポーターとしてお手伝いさせていただいておりますが、どのように授業に関わっていけばよいか勉強する機会がなかったので、とても充実した時間でした。小学校英語のとらえ方も今までとてもあいまいでしたが、位置づけが少しではありますが理解できました。ありがとうございました。
- ・小学校にとり入れる英語活動の意義がわかってよかった。
- ・現場の方の事を聴くことができてよかったです。
- ・小学校英語活動については全く理解できていない私でしたが、それが目指すただしいあり方に理解を深めた2時間でした。特にマーナー氏のお話はわかりやすく有意義でした。笠原氏のお話も横浜市の実情が理解でき、また具体例を示されて納得させられるものがありました。実りある2時間の講座でした。進行もすばらしかったと思います。
- ・小学校英語活動について中高とは違う捉え方をしていることを知ることができて良かった。
- ・国際人を育てるという点において、小・中・高が連携されていない印象を受けた。一貫性のない教育カリキュラムで現在の英語教育が、小学校から始まることで変わることができるのか疑問。
- ・今まであまり現場に関わっている方の話をきいたことがありませんでしたので、大変勉強になりました。
- ・桂小の取組みをビデオで拝見いたしました。サポーターの方々も熱意を持って授業に望まれていることは良く分かるのですが、初めは子どもたちはキョトンとしていても、しばらくすれば英語のみの授業に適應できる力を持っています。もっとネイティブのしっかり教育経験のある先生を募って英語のみですすめていかないと、さほど成果は期待できないのではないかと印象を持ちました。

- ・多角的な視点からの講演で、小学校での英語の位置づけがよくわかりました。
- ・英語活動という意味が初めてわかった。大抵の父母は英語教育と思っているだろうと思う。担任の先生が活動内容を組み立てるといのは確かに合理的だと思うが、現在以上にカリキュラムが負担となるのではと心配している。子どものコミュニケーション能力が目標通り伸びていくものかやはり内容が重要になってくると考える。参加して良かったと思う。
- ・トム・マーナーさんのお話がとても良かったと思います。小学校は全人教育をするところであるとの認識の話。英語はあくまで道具にすぎない。
- ・小学校英語活動の基本的な考え方がよくわかりました。小学校での英語活動が語学教育ではないということは全保護者にもっと伝えていくべきだと思いました。
- ・これからの小学校英語活動の指針がよく理解でき、ためになりました。サポーターの方の話も大変参考になりました。
- ・サポーターを始めて3か月ほどになりますが、方向性がかめずにその時その時で対応してきました。今日このフォーラムに参加して少し目指している方向が見えてきたような気がしました。現場では多々考え込んだり思わずうなってしまうような場面もありますが、子どもたちが楽しく英語に親しんでくれる事を大切にしていきたいと思います。
- ・昨年よりサポーターをさせて頂いています。先生方も含め、手探り状態で不安も多い中、お話を伺え、良い時間を持てました。各小学校、各担任、各サポーターが主旨を理解し横浜の子どもたちのためによりよい英語活動が進められることを祈っています。
- ・様々な立場からポイントをおさえたお話が伺えて大変良かったです。コミュニケーション力、全人教育は校外で生徒たちを見ていてほとんど失敗していると思います。外国語がこの点で良いツールとなれば良いのかなと思いました。ただ日本では英語は受験のために暗記する教科のイメージが強すぎ。もっとツールだという本質の浸透から手をつけていくべきです。
- ・小学校英語の現状がよくわかり勉強になりました。実際にサポーターとして今秋からかかわっているのでマーナー先生のお話から現在の課題が明らかになり今後の展開がやや不安になりました。泉頭さんのお話からは学校およびサポーターの積極的な関わりがよい授業につながるということがわかりました。スタッフの皆様よい機会を作って下さりありがとうございました。
- ・このテーマの全体象を掴むには大変よく組まれたプログラム構成でした。
- ・質問の応答に答える時間をもっと頂きたかったですね。
- ・とても興味深いお話で、あっという間の3時間でした。笠原先生の国際理解と英語活動のリンクした授業が行われている学校はまだ少ないのではと思いました。小学校英語活動の目的内容が明確に話の中に組み込まれていて分かりやすかったです。授業のビデオを見られて良かったです。
- ・小学生の保護者として小学校の英語とはどういうものなのか知りたいと思い今回参加しました。子どもたちは幼稚園から少しずつ英語というものに触れ外国語という抵抗感がないのはとてもよいことだと思います。そういう感覚が維持されながら、より興味を持って小学校の英語を楽しんで身に付けていくものになればよいなと感じました。
- ・小学校英語と中・高校英語の取組みの違いが確認出来てとても有意義だった。
- ・現場にいらっしゃる先生方からの生の声を聴くことができ大変良かった（具体的なことがわかった）。またいろいろなお話をお聞きしたいです。ありがとうございました。今後共どうぞよろしくお願い致します。
- ・トム・マーナーさんのお話をもっと聞きたかった。
- ・英語活動の具体的な方向性が理解できてよかったです。
- ・途中からでしたが英語に関する内容がよくわかりました。ありがとうございました。また、サポーターについて詳しくお聞きしたいです。

- ・このような場を設けて下さったことはありがたいです。全国に先立って小学校1年生から英語活動が来年度から横浜では始まるのでやるからには効果のあるものになって欲しいと保護者の一人として思います。
- ・小学校英語というものが今まで自分で考えていたものと違うことがわかった。小学校という段階にふさわしい活動について考えさせられた。
- ・小学校英語活動の目的を理解できてよかったです。子どもたちが関心を持ってとりくめるような英語の時間になるようサポートしたいです。

●今後聞いてみたい、勉強してみたい内容について何かありますか？

- ・他のアジア諸国の小学校英語の取り組み方について知りたい
- ・サポーターの方々はどのような選定方法でお決めになるのでしょうか？
- ・思考回路は母国語であり、小学校の国語算数は一番大切。そうした位置づけでどのようにサポーターがかかわれるか？責任大。あくまで英語は道具であることを。
- ・サポーターへの研修
- ・今日のような内容は公私問わず全保護者が知るべき！
- ・児童心理について知識が欲しいです。
- ・国際理解で教えられているプログラムの事例紹介など
- ・他の学校の見学をたくさんしたいです。
- ・英語サポーターの研修
- ・小学生のコミュニケーションを高めるための教育。自分を表現する力。自分の考えを他人に伝える力を育成するには。
- ・小学校英語の専門家になるための英語を勉強したいです。
- ・ぜひサポーターとして役立ちたいと思っていますので関連セミナーを今後もよろしくお願いします。
- ・他の学校の授業を見学する機会があれば良いです。
- ・もう一つの現場の方＝教員の方のお話が聞ければ嬉しいです。教育委員会の考えと、教員の考えは共育がなかなか進んでいないよう。
- ・児童英語と小学校英語の違いについて具体的な指導法も含めて勉強する機会があれば参加してみたいと思います。
- ・今日、聞き逃したので次回のフォーラムを期待いたします。
- ・授業内容についてトピックスや子どもの接し方など具体的にわかるもの（特に高学年に対して）
- ・具体的な英語活動のやり方についての研修を行っていただきたいです。
- ・出来れば土曜日などに勉強会をしていただければと思います。担任の先生方に忙しい中、さらに研修研修というのはどうかとも思いますが、学校に講師が来て、サポーターと担任が共に学べる機会があったらと思います。マーナー先生のお話をもっと聞きたいです。
- ・授業を通して見学してみたいです。サポーターへの研修に参加してみたいです。

以上